

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会

## ～目 次～

- ◆ 重点項目の実績……………P1
- ◆ 法人運営事業【総務係】……………P4
- ◆ 地域福祉事業【地域福祉係】……………P10
- ◆ 地域福祉事業【生活支援係】……………P25
- ◆ 地域包括支援センター事業【地域包括ケア推進係】……………P30
- ◆ 福祉サービス事業【在宅福祉係】……………P35
- ◆ 福祉サービス事業【障がい福祉係】……………P37
- ◆ その他……………P43
- ◆ 事務機構図……………P44

# 平成 30 年度 事業報告書

平成 30 年度の亀山市社会福祉協議会は、住民の参加・協働による市民参画型の福祉社会の実現を理念に、誰もが安心して明るく元気に暮らすことのできる福祉のまちづくりの推進を目指し、地域福祉活動計画及び年度当初策定しました事業計画に基づき以下の事業を実施いたしました。

## <重点項目の実績>

### 1 組織基盤の強化

役職員が一体となって地域福祉の推進に取り組むため、法人の使命・経営理念・組織運営方針の制定に向けた検討を行いました。また、職員の処遇制度を明確にするため、職員就業規則、賃金規程等を新たに整備し、法人の組織強化に努めました。財政面としては、経営状況の良くなかった福祉サービス事業について、経営分析、事業継続について検討を行った結果、30 年度末をもって居宅介護支援事業を廃止いたしました。これまでマイナス収支だった福祉サービス事業も 30 年度決算ではプラス収支に改善されたことから、引き続き安定的な事業経営を目指していきます。

今後は職員研修計画の策定や人事考課制度、社会福祉法人間の連携について検討を行い、組織体制の強化に努めます。

### 2 地域福祉力強化推進事業の受託

亀山市から地域福祉力強化推進事業を受託し、配置したコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が個別支援・地域支援・しくみ作りについて取り組みました。全 22 地区の福祉委員会、全 4 地区の民生委員児童委員協議会の定例会等に出向き、コミュニティソーシャルワーカーの役割を説明するとともに、制度の狭間の問題にも積極的に介入し課題解決に向け取り組みました。さらに仕組み作りのため「ちょこボラ」養成講座を開催し、地域での助け合い・支え合い活動が活発化していけるよう努めました。今後も民生委員・児童委員や福祉委員、関係機関と連携しながら地域課題の解決に向け取り組んでいきます。

### 3 地域包括支援センターの受託運営

30 年度から鈴鹿亀山地区広域連合から委託を受け、地域包括支援センターの運営を行いました。人員体制については 8 月から社会福祉士を採用し、より専門的な支援を行える体制を整えました。総合保健福祉センター「あいあい」や地域包括支援センター自体が高齢者に関する総合相談窓口として認識されていることから窓口の移行はスムーズにでき、その都度、必要な支援者や団体へつなぎ、丁寧に対応することを心掛けました。また、地域ケア会議に社協が参画することにより、地域包括支援センター及び在宅介護支援センターとコミュニティソーシャルワーカーや生活困窮者自立支援事業の担当者との連携が図れるようになりました。

今後は、さらに満足度の高い対応ができるよう、各係、市担当課ほか関係機関との連携を図り、定期的に話し合いを重ねられるよう努めていきます。

#### 4 ボランティア活動の推進

ボランティア活動を支援するため、ボランティアセンターとして団体及び個人登録者に対し、団体助成、ボランティア活動保険の助成等を行うとともに、ニーズに応じたボランティアコーディネートを行いました。また、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づき、初めて社協職員をはじめ、災害ボランティア登録者、青年会議所、市職員と災害ボランティアセンターの机上設置訓練（研修会）を実施しました。今後も、関係機関と連携を図りながら、災害時のボランティア活動を円滑に行えるよう引き続き災害ボランティアセンター設置訓練を実施します。

#### 5 サロン活動の推進

高齢者対象のふれあい・いきいきサロンについては、新規で11か所立ち上がり計91か所、地域住民誰もが参加できるコミュニティサロンについては新規で7か所立ち上がり計14か所となり、地域で集まって過ごせる場としてのサロン活動に助成を行いました。今後も引き続き地域のサロン活動の場へ積極的に向き、地域の状況や福祉課題の把握に努めるとともに、活動の情報発信を行ってまいります。

#### 6 福祉教育推進事業の充実

市内21福祉施設のご協力により、中学生福祉体験教室を実施し、充実した福祉体験の場を提供することができました。また、市内の学校に様々な体験やボランティア活動を通じて、福祉に対する関心を高めることを目的に福祉教育推進事業を実施しています。3校（園）をモデル校に指定し、学校（園）と社協が協働で年間のプログラムを作成し、福祉教育の更なる充実と次世代の担い手の育成に取り組みました。2年間指定したモデル校の取り組みの成果をDVDやパンフレットにまとめ周知を図りました。次年度からは新たな学校（園）をモデル校に指定し、福祉教育の推進に取り組んでいきます。

#### 7 成年後見制度の活用促進

相談窓口として地域包括支援センターに相談員を置き、判断能力の不十分な高齢者、障がい者の方やご家族、支援者の方からの相談を受け、支援を行いました。

新規相談件数は前年度と変わりはないですが、延べ対応件数は増加しました。制度説明のため、分かりやすい資料を作成し、相談者には丁寧に対応いたしました。これからも対象者の方の意思や状況に合わせた個別支援を進めながら、制度の普及啓発に努めていきます。

## 8 障害福祉サービスの充実

生活介護事業（つくしの家・なかまの部屋）について、つくしの家では、30年度から2つの日課（作業中心の班と機能訓練重視の班）に分けて活動したことで、個々の能力に応じた支援ができ、安定して過ごせる利用者が増えました。今後はレクリエーション研修の受講や他施設の視察研修を積極的に取り入れ、レクリエーションなどの専門的な技術を身につけ、利用者の方の生きがいや余暇活動の充実にも努めていきます。

30年度から新たに開始した送迎サービスは、家族の方々には喜ばれておりますが、一方で、事務作業による職員の時間外勤務が増加したため、職員の労務管理の適正化を図るとともに事務の効率化に向けて取り組んでいきます。

今後は、生活介護事業所としての機能を生かし、家族の休息や仕事の都合のため、利用希望が多くなっている日中一時支援事業に取り組むなど障害福祉サービスの充実を図ります。

# 1 法人運営事業【総務係】

## 1 会務の運営

### ①理事会（5回）

#### 第1回 平成30年5月15日（火） 書面決議

##### 議 題

議案第1号 平成30年度共同募金配分金の助成について

#### 第2回 平成30年6月6日（水） 出席者11名

##### 議 題

議案第1号 評議員選任候補者の選考及び推薦について

議案第2号 心配ごと相談所相談員の選任について

議案第3号 平成29年度 事業報告及び決算について

議案第4号 第1回評議員会の招集について

報告第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告について

#### 第3回 平成30年11月28日（水） 出席者10名

##### 議 題

議案第1号 平成30年度 資金収支（一次）補正予算について

議案第2号 第2回評議員会の招集について

報告第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告について

#### 第4回 平成31年2月19日（火） 出席者11名

##### 議 題

議案第1号 定款の変更について

議案第2号 亀山市社会福祉協議会居宅介護支援事業所運営規程の廃止について

議案第3号 亀山市社会福祉センター管理運営規程の一部改正について

議案第4号 経理規程の一部改正について

議案第5号 定款施行細則の全部改正について

議案第6号 処務規程の全部改正について

議案第7号 公印管理規程の制定について

議案第8号 車両管理規程の制定について

議案第9号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会日常生活自立支援事業利用料助成規程の一部改正について

議案第10号 平成30年度 資金収支（二次）補正予算について

議案第11号 平成31年度 事業計画及び資金収支予算について

議案第12号 第3回評議員会の招集について

**第5回 平成31年3月26日（火） 出席者9名**

議 題

議案第1号 使命・経営理念・組織運営方針の制定について

議案第2号 職員就業規程の廃止及び正規職員就業規則の制定について

議案第3号 正規職員賃金規程の制定について

議案第4号 正規職員退職金規程の制定について

議案第5号 正規職員育児・介護休業規程の制定について

議案第6号 正規職員内部通報者保護規程の制定について

議案第7号 旅費規程の制定について

議案第8号 事務局規程の一部改正について

**②評議員会（3回）**

**第1回 平成30年6月27日（水） 出席者16名**

議 題

議案第1号 理事の選任について

議案第2号 平成29年度 事業報告及び決算について

**第2回 平成30年12月10日（月） 出席者13名**

議 題

議案第1号 平成30年度 資金収支（一次）補正予算について

報告事項 平成30年度事業報告（4月～9月）について

**第3回 平成31年3月7日（木） 出席者16名**

議 題

議案第1号 定款の変更について

議案第2号 平成30年度 資金収支（二次）補正予算について

議案第3号 平成31年度 事業計画及び資金収支予算について

**③監事監査（2回）**

**第1回 平成30年5月24日（木） 出席者2名**

議 題

①平成29年度事業報告及び収支決算の監査について

**第2回 平成30年10月26日（金） 出席者2名**

議 題

①平成30年度中間監査について（4月1日～9月30日）

#### ④三役会（会長・副会長・常務理事）

##### 第1回 平成30年4月25日（水）

- 議 題 ①理事会提出議案について  
②平成30年度福祉ボランティア基金助成について

##### 第2回 平成30年5月31日（木）

- 議 題 ①理事会及び評議員会提出議案について  
②各係の目標について

##### 第3回 平成30年6月27日（水）

- 議 題 ①各事業の進捗状況について

##### 第4回 平成30年7月26日（木）

- 議 題 ①第2次地域福祉活動計画の前年度（29年度）事業評価について

##### 第5回 平成30年8月22日（水）

- 議 題 ①福祉サービス事業3か年の財政見通しについて

##### 第6回 平成30年10月24日（水）

- 議 題 ①平成30年度事業報告について（4月～9月）

##### 第7回 平成30年11月24日（土）

- 議 題 ①理事会及び評議員会提出議案について

##### 第8回 平成30年12月10日（月）

- 議 題 ①平成31年度予算概要について

##### 第9回 平成31年2月13日（水）

- 議 題 ①理事会及び評議員会提出議案について

##### 第10回 平成31年3月9日（土）

- 議 題 ①理事会提出議案について

#### ⑤役員及び評議員研修会の開催

本会の社会福祉事業の推進を図るため、役員及び評議員の研修会を実施しました。

実施日 平成31年3月26日（火）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 社会福祉法人会計について～予算書・決算書の見方～

講 師 税理士法人アチーブメント

所長 廣野 一三

参加者 26名（理事8名、監事1名、評議員4名、職員13名）

## 2 基盤の強化

### ①会員制度の啓発及び推進

（単位：名、円）

実施期間	普通会員	特別会員	30年度 実績額	29年度 実績額	増減額
7月	10,587	4	3,459,100	3,539,600	△80,500

### 3 社会福祉大会事業 <市補助事業>

#### ①第14回亀山市社会福祉大会

亀山市における社会福祉関係者が一堂に会し、今後の更なる努力を誓い、併せて亀山市の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝を表するため開催いたしました。

実施日 平成30年11月21日(水)

場 所 亀山市中央コミュニティセンター

内 容 表彰状・感謝状授与

記念講演：演題 「ひきこもり支援から見えた地域福祉の可能性」

講師 社会福祉法人藤里町社会福祉協議会

会長 菊池 まゆみ

参加者 約150名

### 4 福祉移送サービス事業 <市委託事業>

「住みよい福祉のまちづくり」を推進することを目的として、歩行困難の方や寝たきり状態の方を対象に、福祉移送サービスを実施いたしました。

(単位：名、回)

	30年度	29年度	増減
登録者数	45	52	△7
延べ運行回数	1,723	1,602	121

<30年度内訳>

(単位：円、回)

月	運行費 (年会費含む)	内 容				運行 回数
		リハビリ	診察	透析	その他	
4	76,600	14	71	59	1	145
5	49,000	16	77	68	0	161
6	42,400	16	71	67	0	154
7	37,400	16	62	60	2	140
8	45,400	10	79	77	1	167
9	40,200	12	72	55	2	141
10	47,000	16	92	63	2	173
11	42,800	18	77	57	2	154
12	35,200	12	74	35	2	123
1	35,400	14	84	32	1	131
2	36,800	14	63	50	2	129
3	30,600	0	73	30	2	105
計	518,800	158	895	653	17	1,723

※その他：病院への入退院、施設への入退所など

## 5 介護機器貸し出し事業

健康増進と家族の身体的、精神的な負担の軽減を図り、社会参加を促進することを目的として、在宅の寝たきり高齢者及び障がい児（者）などに対して車椅子及び歩行器を貸し出しました。

(単位：件)

	30年度	29年度	増減
車椅子	206	266	△60
歩行器	0	2	△2

## 6 入れ歯リサイクル事業

入れ歯に使われている金属をリサイクル資源として回収し、収益金を世界中の恵まれない子供たちのために役立てようとする「入れ歯リサイクル事業」を行いました。総合保健福祉センター及び社会福祉センターに回収ボックスを設置し、投入された入れ歯をNPO法人日本入れ歯リサイクル協会が回収し、益金を日本ユニセフ協会へ納めています。

(単位：円)

	30年度	29年度	増減
収入金額	40,078	16,165	23,913

## 7 日本赤十字社との連絡及び協力

### ①日本赤十字社社資募集

(単位：円)

実施期間	30年度 実績額	29年度 実績額	増減額
5月	4,650,410	4,804,550	△154,140

※日本赤十字社三重県支部亀山市地区事務局

## 8 福祉団体の事務及び助成

### ①団体事務局

- 1) 亀山市民生委員児童委員協議会連合会
- 2) 亀山市老人クラブ連合会
- 3) 亀山保護司会
- 4) 亀山更生保護女性会
- 5) 亀山市遺族会

### ②団体助成

- |                      |           |          |
|----------------------|-----------|----------|
| 1) 亀山市民生委員児童委員協議会連合会 | (共同募金配分金) | 230,000円 |
| 2) 亀山市自治会連合会         | (共同募金配分金) | 250,000円 |
| 3) 亀山更生保護女性会         | (共同募金配分金) | 80,000円  |

## 9 西日本豪雨災害に伴う復興支援活動

平成 30 年 7 月に発生した台風 7 号に伴う豪雨災害により、社会福祉協議会職員として復興支援活動に取り組みました。

### ①街頭募金活動

実施期間：平成 30 年 7 月 30 日（月）～8 月 3 日（金）

場 所：マックスバリュ่มいずほ台店

参 加 者：社協職員、亀山市民生委員児童委員協議会連合会役員

募金金額：137,403 円

### ②職域募金（社協職員による募金）

募金金額：25,200 円

## 2 地域福祉事業【地域福祉係】

### 1 第2次亀山市地域福祉活動計画の推進

地域住民や福祉関係者、行政等と協働して地域福祉活動のコーディネートを行い、地域福祉計画及び地域福祉活動計画の実現に向けて取り組みました。

#### ①亀山市地域福祉計画推進委員会

地域福祉計画及び地域福祉活動計画の進捗管理、評価及び検証を行いました。

実施日：平成30年8月10日（金）

場 所：総合保健福祉センター

内 容：計画に係る進捗状況について

今後の主な取組の展開について

#### ②計画の周知・啓発

本計画で示した計画の考え方（基本理念や基本目標など）や取組内容などを行政とともに周知・啓発を行いました。

- ・地域まちづくり協議会（福祉委員会） 22地区（全地区）
- ・地区民生委員児童委員協議会 4地区（全地区）
- ・亀山市議会教育民生委員会 1回
- ・マイタウン亀山（ZTV） 1週間（7/5～7/11 放映）
- ・社協だより、ホームページへの掲載

## 2 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の設置

既存の法制度では支援することが困難な「制度の狭間」の問題（ゴミ屋敷、引きこもり、孤独死など）、多様化・複合化する福祉課題の解決に取り組むとともに、地域で福祉課題を解決する仕組みを構築し、地域における助け合い・支え合い活動を支援するコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を設置しました。（専任2名、兼務2名の計4名）

#### ①相談件数

（単位：件）

	個別支援				地域支援	合計
	高齢	障がい	母子	その他	地域	
新規相談件数	41	15	4	21	1	82
延べ相談件数	130	99	19	85	116	449

#### ②相談経緯

（単位：件）

	本人	民生委員 福祉委員	地域住民	家族	福祉 関係機関	行政機関	その他	合計
相談件数	16	29	10	6	10	6	5	82

### 3 小地域ネットワーク活動事業

#### ①地区福祉委員会の設置促進及び活動支援

(地区まちづくり協議会助成事業) <社協会費>

福祉のまちづくりを進めていく地域福祉の推進役として、全 22 地区 342 名の方に委嘱しました。また、地域特性に応じた福祉活動を展開することを目的に助成事業を行うとともに、地区福祉委員会が行う交流活動や訪問活動、研修会などについてコーディネートを行いました。

・福祉委員の選出 計 342 名 (平成 29 年度 356 名)

<地区まちづくり協議会別福祉委員活動状況>

(単位:名、地区)

No	地区名	委員	小地域ネットワーク活動・地区福祉委員会活動助成事業(主な事業)
1	昼生	7	小学生と一人暮らし高齢者宅訪問、ふれあい歌の広場、施設見学
2	井田川南	31	ふれあいグラウンドゴルフ大会、ふれあい輪投げ大会、高齢者訪問
3	井田川北	39	高齢者への花プレゼント(訪問活動)、敬老会
4	川崎	28	みんな元気で楽しい集い、健康体操、ふれあいフェスタ、夏季の見守り訪問
5	野登	16	子ども見守りパトロール、三世代交流(グラウンドG、しめ縄作り)、配食訪問
6	白川	10	小学生との一人暮らし、二人暮らし訪問活動、高齢者と小学生の交流(白川そば作り)
7	神辺	15	三世代ふれあい交流(農産物や作品の展示等)、訪問活動、ふれあいキッズカフェ、健康体操
8	野村	28	盆踊り大会、三世代ふれあい事業(餅つき、昔のあそび等)、高齢者訪問
9	城東	7	三世代ふれあい事業(みんなの集い、年末餅つき大会)しろやまサロン、高齢者生きがい健康維持
10	城西	9	三世代ふれあい交流食事会、訪問活動、もちつき大会
11	城北	13	ふれあい交流会、敬老会、一人暮らし高齢者訪問
12	御幸	8	三世代交流会、高齢者訪問、感謝の集い(敬老会)
13	本町	8	春のつどい、交流ふれあい広場、いきいきサロン「地域の茶の間」
14	北東	8	ふれあいもちつき大会、なかよしサロン、一人暮らし高齢者訪問、自遊ひろば
15	東部	24	文化演芸大会(世代間及び地域交流行事)、訪問活動
16	天神・和賀	12	ふれあいミニサロン、三世代交流祭、一人暮らし訪問活動
17	南部	9	ふれあい大運動会、敬老会、高齢者訪問活動、ふれあいサロン
18	関宿	33	高齢者見守り訪問活動、ふれあい交流会、敬老会名簿作成
19	関北部	6	高齢者訪問、三世代交流(餅つき大会)、施設見学
20	関南部	13	高齢者ふれあい交流会、高齢者訪問活動、民生委員との情報交換会
21	加太	7	敬老会、高齢者配食サービス、研修会、施設見学
22	坂下	11	ふれあいサロン、全戸訪問活動、配食訪問活動、敬老会
	計	342	

## ②福祉委員新任研修会

福祉委員活動を行うための実践的な技術と意識の向上を図るために、ワークショップを用いながら、新任の福祉委員を対象に研修会を実施しました。

実施日 平成 30 年 7 月 4 日（水）（全 2 回）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 講義及びワークショップ

テーマ 『福祉委員の役割を地域の身近な「見守り活動」から考えあってみましょう』

講 師 地域福祉係

参加者 84 名

## ③福祉委員対象認知症サポーター養成講座

地域包括支援センターと共催で、認知症の正しい理解と日頃の見守り活動に役立てることを目的とし、「認知症サポーター養成講座」を 2 回開催いたしました。

実施日 平成 31 年 1 月 18 日（金）（全 2 回）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 講演：『認知症サポーター養成講座』

講師：地域包括支援センター

参加者 27 名

#### 4 ボランティアセンター事業

##### ① ボランティアセンター登録者（団体及び個人）

<50音順>

No	団 体 名	活 動 内 容	30年度	29年度	増減
1	アモーレかめやま	市内施設・イベント等での演奏活動	17	17	0
2	あゆみの会	福祉施設ボランティア等	11	11	0
3	安心を備える女性の会(CEF)	女性の視点の防災・減災ボランティア	10	10	0
4	NPO 法人ぽっかぽかの会	障がい児（者）の就労の場を作るための各種活動	41	41	0
5	オカリナON	オカリナ演奏で高齢者施設へ慰問	3		3
6	おはなしの会マミーズ	絵本の読み聞かせボランティア	10	11	△1
7	オレンジの会	ボランティア教室やイベント等の調理ボランティア	6	6	0
8	介護アロマ三重サークル亀山	アロマ精油を使って高齢者施設へ慰問	9	4	5
9	かぼちゃの会	高齢者サロン活動ボランティア	15	11	4
10	かみきりむしの会	市内施設・教育機関等での工作ボランティア	16	16	0
11	亀の会	ふれあい教室とのボランティア活動等	6	6	0
12	亀山絵本と童話の会	絵本や童話の創作、絵本・折り紙教室等	18	16	2
13	亀山おもちゃの病院	おもちゃの病院（修理）の開院	14	14	0
14	亀山自助具の会 ピノキオ	高齢者、障がい者、福祉施設のボランティア	11	11	0
15	亀山点訳友の会	点字・点訳図書の作成と講習	12	12	0
16	かめやま防災ネットワーク	防災に関する出前講座の実施	14	0	14
17	亀山民話を語る会	福祉施設・学校等での民話普及活動	13	15	△2
18	亀山朗読奉仕会	市広報等の録音テープ作成等	16	15	1
19	亀山ロマンチカ	施設等でのマジック・バルーンアート等	7	7	0
20	カラオケボランティアローズ	高齢者施設でのカラオケボランティア	4	3	1
21	きぼうの会	野村きぼう苑での歌と踊りのボランティア	23	22	1
22	義勇者(災害支援グループ)	災害支援活動全般	3	2	1
23	車椅子レクダンス普及会亀山支部	車椅子レクダンスの練習、福祉施設訪問	10	11	△1
24	クローバーの会	こころのサポートボランティア活動	3	3	0
25	傾聴かめやま	福祉施設での傾聴活動	10	9	1
26	国鉄・JR親睦会	福祉活動、奉仕活動全般	11	13	△2
27	心のバリアタウン推進の会	バリアフリー専門調査員育成、マップの作成	13	18	△5
28	子育て支援「かめのこ」	ファミリーサポート活動、託児ボランティア	90	84	6
29	こでまり	高齢者・障がい者・福祉施設ボランティア	10	9	1
30	災害通信ボランティアネットワーク亀山	災害時アマチュア無線ボランティア	17	18	△1
31	在宅福祉ネットワーク愛里寿	地域ネットワーク活動、施設・イベント等協力	74	76	△2
32	しいのみ会	老人施設の草取り、鈴鹿中央病院内活動等	23	26	△3
33	清和友の会	福祉施設ボランティア、市内イベント協力	6	6	0
34	関点訳友の会	点字・点訳図書の作成と講習	6	6	0
35	たすけあいクラブ	生活上の困りごとの支援、保健・福祉の勉強会	14	14	0

36	たんぽぽ	福祉施設ボランティア、子どもボランティア教室等	9	10	△1
37	つくしの家ボランティアサークル	福祉施設ボランティア等	8	8	0
38	椿世ひまわり会	町内イベント等の調理や高齢者宅の草刈り等	16	14	2
39	童謡ボランティア	華旺寿での童謡ボランティア	3		3
40	(特非) 亀っ子サポート	生きづらさを持つ青少年に並走型サポート	21	17	4
41	南京玉すだれはり香一座	福祉施設・学校等での南京玉すだれの疲労	5	5	0
42	福祉サポート隊	障がい者の入浴介助、あいあい周辺の環境整備等	10	10	0
43	文化箏 華音	福祉施設・イベント等での演奏活動	33	33	0
44	みえ呼吸嚙下りハビリクリニック ボランティアグループ	在宅療養者の方の食事や買い物等の外出機会を提供する	44	33	11
45	三重パソコン要約筆記サークル ことのは 亀山支部	要約筆記などに関するボランティア活動や啓発講座の実施	3	3	0
46	みっくすどろっぷす	障がい児(者)と家族の交流の場、勉強会の開催等	4	4	0
47	民謡 川崎瀧進絵会	福祉施設・イベント等での演奏活動	19	19	0
	ボランティアサークルいちご	亀山老健認知症対応型デイサービスボランティア		5	△5
	亀山市ベビーマッサージ 教室あかちゃんはい	子育て中の保護者にベビーマッサージの普及		2	△2
	個人ボランティア	災害支援等	6	8	△2
合計			747	714	33

## ②ボランティア保険

安心してボランティア活動ができるための基礎環境の整備として、ボランティアセンター登録団体及び個人に対し、ボランティア活動保険助成を行うとともに、ボランティア保険の加入促進を図りました。

(単位：件、人)

	活動保険	行事保険	福祉サービス 総合補償	送迎サービス 補償
件数	62	53	2	1
人数	1,860	4,414	1,085	50

## ③ボランティアコーディネート

ボランティアを必要としている方、また活動を始めたい方などに連絡、調整、斡旋などのコーディネートをを行いました。

(単位：件)

	30年度	29年度	増減
相談件数	34	26	8

#### ④ボランティアセンター登録ネットワーク会議

ボランティアセンターに登録している団体を対象に、情報提供及び意見交換、相互の交流を目的に実施いたしました。

実施日 平成 31 年 3 月 4 日（月）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 平成 31 年度ボランティア登録、活動保険、活動団体助成事業などについて

参加者 21 名

#### ⑤ボランティア講座

地域での助け合いや支え合いの活動について知ってもらい、日常生活でのちょっとした困りごとに対応できる「ちょこっとボランティア（ちょこボラ）」の育成及び住民相互に支え合うしくみを構築できることを目的に実施しました。

実施日 平成 30 年 11 月 29 日（木）

場 所 総合保健福祉センター

テーマ 「生活応援隊・おしゃべりカフェ～ボランティア組織立上げと現状～」

講 師 平津新町生活応援隊 代表 村木 秀行

四日市市社会福祉協議会 地域福祉推進係 古林 耕平

参加者 44 名

#### ⑥ボランティア交流会

ボランティア活動者が意見交換、情報交換を行うことによって、活動の現状や課題について情報を共有し、活動の活性化を図りました。

実施日 平成 31 年 3 月 4 日（月）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 ボランティアセンター登録団体による活動報告会

子育て支援「かめのこ」

参加者 21 団体 21 名

### ⑦災害ボランティアセンター

亀山市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づき、災害ボランティアセンターの設置訓練（研修会）を実施しました。

実施日 平成 30 年 12 月 1 日（土）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 災害ボランティアセンターマッチング体験カードゲーム

講 師 一般社団法人 ピースボード災害ボランティアセンター  
小林 深吾、垣貫 紀彦

参加者 28 名（災害ボランティア 4 名、青年会議所 2 名、市職員 10 名、社協職員 12 名）

### ○三泗鈴亀地区災害ボランティアセンター広域連携強化事業

実施日 平成 31 年 1 月 28 日（月）

場 所 四日市市総合会館 7 階第 1 研修室

内 容 平時・災害時における専門プログラム提供型支援者等との連携について

講 師 大阪市社会福祉協議会 浜辺 隆之

参加職員 4 名

### ⑧災害ボランティア支援センター

災害ボランティア支援センターを設置し、ボランティア保険の加入手続き、義援金・支援金の募集などを行いました。台風に伴う警報時発令時に職員を配置し災害ボランティアセンター設置に備えました。

### ⑨福祉ボランティア基金助成配分事業 <福祉ボランティア基金事業>

ボランティアセンター登録団体又は個人が、社会福祉の向上のために行う福祉ボランティア活動に対して助成を行いました。

（単位：団体、円）

	30 年度	29 年度	増減
団体数	7	9	△2
助成金額	451,000	635,000	△184,000

- ⑩あいいい祭り 2018 ～であい ふれあい ささえあい～<福祉ボランティア基金事業>  
あいいい祭り実行委員会事務局として、祭りの運営、各種許可申請、会場設営などを担当し、多数のボランティアの協力を得て開催いたしました。

実施日 平成 30 年 10 月 21 日（日）

場 所 総合保健福祉センター及び医療センター

内 容 ボランティア体験・活動紹介、ボランティア・福祉教育推進事業紹介、模擬店、  
ステージ発表 など

#### ○実行委員会事務局の運営

1) 準備委員会 平成 30 年 6 月 29 日（金）

・テーマの選定、実行委員長及び副委員長の選任について

2) 実行委員会

第 1 回 平成 30 年 7 月 23 日（月）

・あいいい祭り組織図、全体スケジュール等について

第 2 回 平成 30 年 10 月 10 日（水）

・実施内容の最終確認、事前準備について

第 3 回 平成 30 年 11 月 13 日（火）

・あいいい祭り 2018 の振り返りについて

3) 代表者会議

平成 30 年 7 月 23 日、8 月 31 日（全 2 回）

・各部会からの報告及び協議事項、予算について

4) 部会

広報・ステージ部会

平成 30 年 7 月 23 日、8 月 10 日、8 月 27 日（全 3 回）

・広報スケジュール、チラシの校正等について

・司会進行、出演依頼、当日のプログラム等について

会場部会

平成 30 年 7 月 23 日、8 月 29 日（全 2 回）

・ゴミの回収、会場レイアウト等について

#### ○催し物の実施

あいいい祭り参加団体として、各種団体等の活動紹介パネルの展示等を行い、福祉への関心を高め、思いやりの輪を広げることを目的に実施いたしました。

内 容 ボランティアセンター登録団体パネル展示  
福祉教育推進事業、サロン活動パネル展示  
共同募金イベント募金

## 5 福祉教育推進事業

### ①福祉教育推進助成事業 <共同募金配分金事業>

小中学校及び高等学校における福祉教育について、車椅子の貸出、ボランティア紹介、助成事業などを行い、社会福祉への理解と関心を高めることを目的に実施しました。また、学校と更なる連携を図るため、モデル校を指定するとともに、保育所、幼稚園、認定こども園に対しても地域交流等をとおして福祉の心を育ていけるよう助成事業を行いました。

- ・助成事業：計 1,900,000 円 (@50,000×14 校、18 園 モデル校@100,000×2 校、1 園)
- ・30 年度モデル校、園：加太保育園、野登小学校、亀山高等学校

(単位：校、園)

保育所	13	第一愛護、第二愛護、みなみ、神辺、昼生、和田、川崎南、加太 (モデル校)、第三愛護、亀山愛児、川崎愛児、野登ルンビニ、なのはな
幼稚園	5	亀山、亀山東、井田川、みずほ台、みずきが丘道伯
認定こども園	1	アスレ
小学校	11	亀山西、亀山東、亀山南、井田川、野登 (モデル校)、川崎、神辺、昼生、白川、関、加太
中学校	3	亀山、中部、関
高等学校	2	亀山 (モデル校)、徳風

#### ○モデル指定校 (園) との関わり

モデル校 (園) を指定し、学校 (園) と社協が協働で年間を通じてのプログラムを作成し、下記の内容の事業を行いました。

学校 (園) 名	内 容
加太保育園	野外体験保育をとおしての地域の人たちとの交流 そうめん流し、田植え体験、桜餅作りなど
野登小学校	認知症キッズサポーター養成講座 ふくしチャレンジ! (点字ブロック、車椅子、福祉車両体験) 地域の高齢者施設訪問の事前学習 (アロマ精油を使ったハンドマッサージ) 民生委員さんについて学ぼう! (民生委員紙芝居)
亀山高等学校	ふれあい・いきいきサロンとの交流 (3 回) 特別支援学校との交流会 清和の里訪問、清掃奉仕活動

## ②夏休み中学生福祉体験教室 <市補助事業>

夏休みの8月20日(月)～24日(金)【5日間】市内の社会福祉施設において、高齢者や障がい者の方々とふれあい・交流を通じて、福祉に対する理解を深めることを目的に開催いたしました。

(単位:名 ※延べ人数)

施設名	参加者	施設名	参加者	施設名	参加者
安全の里	2	宝寿の郷	3	プレミアム DayRinRin	3
野村きぼう苑	2	わだのさと	6	アスプラン亀山	11
亀山老健、デイサービス	3	グループホーム亀山	12	はなの家	6
花しょうぶ苑	7	うさぎ亀山	15	花しょうぶ苑関	11
つくしの家	2	グループホーム白鳥	3	なかまの部屋	8
優の里	1	愛の里	12	えん	12
さと和	4	亀寿苑川崎 デアアップセンター	1	亀寿苑関 デアアップセンター	10
合 計					134

## ③街頭募金活動

福祉教育の推進及び地域の福祉活動を行う財源確保を目的に、市内の中学・高校生らに街頭募金活動を実施しました。

(単位:円)

No	日程	学校名	場所	金額	募金名
1	6月8日	亀山高	スーパー2店舗	16,604	福祉ボランティア基金
2	6月13日	徳風高	スーパー2店舗	4,962	〃
3	10月21日	亀山高	あいあい祭り	30,558	共同募金
4	10月30日	亀山中	スーパー1店舗	8,575	〃
5	10月31日	関中	スーパー1店舗	15,247	〃
6	11月8日	中部中	スーパー1店舗	8,829	〃
7	11月18日	亀山高	食の祭典・企業典	50,921	〃
8	11月19日	亀山高	スーパー2店舗	11,611	〃
9	12月8日	亀山高	ヒューマンフェスタ	7,741	〃
10	1月26日	亀山高	亀山大市	16,154	〃

## ④福祉教育DVD、パンフレットの作成

福祉教育推進助成事業の取組について広く周知啓発を図るため、指定モデル校(園)の活動についてのDVD及びパンフレットを作成しました。

## 6 サロン活動推進事業

### ①ふれあい・いきいきサロン・子育てサロン・コミュニティサロン助成事業

＜市補助事業・福祉ボランティア基金事業＞

地域住民やボランティアが主体となって、コミュニティセンターや集会所など地域の身近な場所を活用し、集まって過ごす「憩いの場」を作る「サロン活動」に助成いたしました。

(単位：円、名)

		30年度 箇所数	29年度 箇所数	増減	助成金額	延べ参加数
高齢者	既存	71	51	20	2,520,000	22,879
	新規	20	29	△9	678,000	
	計	91	80	11	3,198,000	
子育て	既存	8	8	0	288,000	2,114
	新規	0	0	0	0	
	計	8	8	0	288,000	
コミュニティ	既存	7	7	0	252,000	2,687
	新規	7	8	△1	249,000	
	計	14	8	6	501,000	
合計		113	96	17	3,987,000	27,680

### ②ふれあい・いきいきサロン交流会

市内のふれあい・いきいきサロンを実施している団体間において、情報交換や交流を深めることにより、サロン活動の充実を図ることを目的に開催いたしました。

実施日 平成 31 年 3 月 15 日 (金)  
 場 所 総合保健福祉センター  
 内 容 サロン団体の活動発表及び意見交換会  
 発表団体 ヒフミサロン (本町)、かがやき (南部)  
 参加者 77 団体 81 名

### ③子育てサロン交流会

小さな子どもを持つ親たちが地域で安心して子育てができるよう、サロン活動を行う上の悩みや解決方法について、意見交換を行うとともに相互の交流を深めました。

実施日 平成 31 年 3 月 11 日 (月)  
 場 所 神辺地区コミュニティセンター  
 内 容 子育てサロン体験 (太巻き作り) と活動発表 (神辺ふれあいキッズカフェ)  
 参加者 7 団体 : 大人 26 名、子ども 10 名 (うち主任児童委員 5 名)

#### ④コミュニティサロン交流会

市内の「コミュニティサロン」を実施している団体間において、交流を深めることによりサロン活動の充実を図ることを目的に開催しました。

実施日 平成 31 年 3 月 8 日 (金)  
場 所 総合保健福祉センター  
内 容 ワールドカフェ方式の意見交換会  
参加者 12 団体 21 名

## 7 広報啓発事業

### ①社協だよりの発行 (年 4 回)

社会福祉協議会が行う事業をはじめ、地区福祉委員会やボランティアなどの地域における福祉活動を市民に啓発するため、年 4 回、市内全世帯に配布いたしました。

第 54 号 平成 30 年 7 月 1 日「特集：地域包括支援センターってどんなところ？」等

第 55 号 平成 30 年 10 月 1 日「西日本豪雨災害復興支援活動」等

第 56 号 平成 31 年 1 月 1 日「特集：地域で輝く亀高生」等

第 57 号 平成 31 年 4 月 1 日「ふくし最前線 特集；菅 昌さん」等

### ②ホームページ・フェイスブックの運営

インターネットを利用して最新の情報や各種募集 (助成金など)、社会福祉協議会の概要や活動内容について情報発信を行いました。

(単位：回)

更新回数	30 年度	29 年度	増減
お知らせ・新着情報	18	34	△16
フェイスブック	159	136	23

HP アドレス <http://kameyama-shakyo.or.jp/>

## 8 各種福祉事業

### ①高齢者支援

#### ○団体助成

- |                    |           |           |
|--------------------|-----------|-----------|
| 1) 老人福祉フェスティバル事業   | (市補助金)    | 220,000 円 |
| 2) 交通費助成           | (市補助金)    | 216,000 円 |
| (老人福祉フェスティバル貸切バス代) |           |           |
| 3) 亀山市老人クラブ連合会     | (共同募金配分金) | 430,000 円 |

#### ○安心見守り訪問事業 <歳末たすけあい配分金事業>

市内在住の 75 歳以上ひとり暮らし高齢者の世帯に対し、地区福祉委員会による見守り訪問活動を行い、災害用非常食を配布しました。

実施地区 22 地区

実施期間 平成 30 年 12 月～平成 31 年 2 月

(単位：件)

	30 年度	29 年度	増減
配布数	870	866	4

#### ○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

措置施設入所者（無年金）、契約施設入所者（無年金） 0 件 ※該当者なし

### ②障がい児（者）支援

#### ○障がい児交流事業 <共同募金配分金事業>

市内在住の障がいのある児童を対象に、相互の親睦と高校生とのふれあい交流を通して共生社会の実現に向け実施しました。

実施日 平成 30 年 7 月 7 日（土）

行 先 伊賀の里モクモク手づくりファーム

参加者 16 世帯（50 名）及び亀山高校生徒 10 名

#### ○団体助成

- |                 |           |           |
|-----------------|-----------|-----------|
| 1) 亀山市障害者福祉協会   | (共同募金配分金) | 160,000 円 |
| 2) 亀山市特別支援教育振興会 | (共同募金配分金) | 130,000 円 |
| 3) みっくすどろっぷす    | (共同募金配分金) | 150,000 円 |

#### ○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

特別児童扶養手当受給者	113 件	339,000 円
障害児福祉手当受給者	4 件	12,000 円
特別障害者手当受給者	19 件	57,000 円
福祉手当受給者	1 件	3,000 円
合計	137 件	411,000 円

### ③子育て支援

#### ○入学祝金 <歳末たすけあい配分金事業>

生活保護家庭新入学児童生徒への祝金 4名 20,000円

#### ○修学旅行補助 <歳末たすけあい配分金事業>

生活保護家庭小中学校修学旅行補助 3名 25,000円

#### ○団体助成

- 1) 亀山市子ども会育成者連絡協議会 (共同募金配分金) 60,000円
- 2) 亀山市母子寡婦福祉会 (共同募金配分金) 150,000円

#### ○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

準援護家庭	290件	870,000円
施設入所児童	1件	3,000円
合計	291件	873,000円

### ④低所得者支援

#### ○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい援護事業>

生活保護世帯 161件 509,000円

#### ○団体助成

- 1) 亀山みんなの食堂 (共同募金配分金) 200,000円
- 2) 学習支援事業コーディネーターの会 (共同募金配分金) 100,000円

### ⑤多文化共生への支援

#### ○団体助成

- 1) みらいじゅく (共同募金配分金) 60,000円

## 9 共同募金会との連絡及び協力

### ①赤い羽根共同募金運動

(単位：円、%)

実施期間	目標額	30年度 実績額	達成率	29年度 実績額	増減額	前年比
10月～12月	6,289,200	5,649,954	89.8	5,947,283	△297,329	95.0

### ②歳末たすけあい募金運動

(単位：円、%)

実施期間	目標額	30年度 実績額	達成率	29年度 実績額	増減額	前年比
10月～12月	2,100,000	2,066,300	98.3	1,869,171	197,129	110.5

### ③亀山市共同募金委員会運営委員会の開催

第1回 平成30年6月14日(木) 出席者7名

議 題

- 1) 会長及び副会長の選任について
- 2) 平成29年度事業報告及び一般会計収支決算について
- 3) 平成30年度(平成31年度充当)一般募金配分申請について
- 4) 平成30年度歳末たすけあい募金配分申請について

第2回 平成31年3月20日(水) 出席者6名

議 題

- 1) 平成31年度事業計画並びに一般会計収支予算について

### 3 地域福祉事業【生活支援係】

#### 1 総合相談事業 <市補助事業>

##### ①福祉なんでも相談

生活困窮者自立支援事業の相談窓口を活用し、福祉全般の相談を受ける「福祉なんでも相談窓口」を開設して、複合的な福祉課題を抱える相談者に対し、支援調整会議を通じて適切な相談援助を行っています。

##### ②心配ごと相談（元公証人（弁護士）による法律相談）

市の法律相談と連携するとともに、相続、遺言、金銭貸借、離婚等の法律に関することに対して公証人経験者による適切な助言、指導を行う法律相談とともに、日常生活上あらゆる心配ごとに応じるため、民生委員児童委員及び学識経験者による心配ごと相談を毎月第2・第4金曜日に開催しました。

（単位：日、件）

	30年度	29年度	増減
開設日数	23	23	0
心配ごと相談所相談件数 （元公証人による法律相談含む）	106	80	26

##### ③社協による法律相談

成年後見制度などの権利擁護に関する相談に対し、弁護士による適切な助言、指導を行うことを目的に毎月30日（土日祝の場合は前の平日に繰り上げ開催）に開催しました。

（単位：日、件）

	30年度
開催日数	12
社協による法律相談相談件数	33

##### ④心配ごと相談員研修会（民生委員児童委員協議会連合会合同研修会）

地域でさまざまな問題を抱えた世帯のニーズに応じていくために、相談員の専門知識の習得や関係機関との連絡、連携が不可欠になってきています。今後の心配ごと相談所活動の充実を図ることを目的に研修会を実施しました。

実施日 平成31年2月28日（木）

場 所 総合保健福祉センター

講 演 「相続について」をテーマに講義と質疑応答など

講 師 三重県司法書士会 服部 和史

参加者 相談員8名

## 2 日常生活自立支援事業 <県社協受託事業>

認知症高齢者や知的・精神障がいを持つ方々が地域で安心して生活することを目的に、福祉サービス利用援助や日常的金銭管理、書類等の預かりサービスを行いました。

基幹の社協として三重県社会福祉協議会から事業を受託し専門員を配置し、行政等関係機関との連携を深め、利用者に寄り添ったサービスの提供を行いました。

### ○支援回数 (単位：件)

	30年度	29年度	増減
認知症高齢者	210	242	△32
知的障がい者	422	426	△4
精神障がい者	357	376	△19
その他	63	40	23
計	1,052	1,084	△32

### ○契約者数 (単位：件)

	30年度	29年度	増減
認知症高齢者	11	14	△3
知的障がい者	16	16	0
精神障がい者	13	15	△2
その他	2	2	0
計	42	47	△5

### ○生活支援員関係 (単位：名、回)

	30年度	29年度	増減
生活支援員	14	15	△1
派遣回数	881	865	16

### ○生活支援員研修会

サービス提供に必要な知識及び技術の向上を図るため生活支援員を対象に研修会を実施いたしました。

実施日 平成31年3月5日(火)

場 所 亀山市総合保健福祉センター

内 容 「最近多い消費者トラブルとその対処方法について」

講 師 鈴鹿亀山消費生活センター 堀本 由佳

参加者 7名

### 3 生活困窮者自立支援事業 <市委託事業>

社会的孤立や経済的困窮などの課題を抱えた方への相談支援をはじめ、きめ細やかな支援の体制づくりを行っていくことを目的に、自立相談支援事業（必須事業）及び家計相談支援事業（任意事業）を受託しました。専門員 3 名を配置し、相談者の生活課題を把握・整理し課題の解決に向け、相談者の状況に応じた包括的・伴走的な支援を行いました。

#### ○相談実績 (単位：件)

	30 年度	29 年度	増減
新規相談件数	124	112	12
延べ相談件数	548	512	36
プラン作成件数	14	12	2
家計相談支援利用件数	9	5	4
支援中断	0	0	0
支援終結	5	10	△5

#### ○年代別構成 (単位：件)

	30 年度	29 年度	増減
10～20 代	10	11	△1
30～40 代	33	34	△1
50～60 代	41	49	△8
70 代～	33	15	18
不明	7	3	4

#### ○区分（重複あり） (単位：名)

	30 年度	29 年度	増減
高齢者	48	20	28
母子家庭	5	8	△3
障がい者	14	17	△3
外国人	8	12	△4
稼働・失業者等	42	33	9
その他（病気等）	12	42	△30
不明	2	0	2

#### ○支援調整会議の開催

相談者に対する支援プランの適切性、進捗状況、終結時の評価等について協議するために、毎月 1 回開催しました。必要に応じて市役所の関係部局、関係機関にも参加要請を行い、連携を図りました。

#### ○合同出張相談会への参加

有期雇用の外国人労働者で、すでに離職し求職中の方を対象に、一人ひとりに応じた就労・資金貸付・食料支援等の具体的な相談に応じる合同出張相談会に参加しました。

実施日 平成 31 年 2 月 5 日 (火)

場 所 亀山市役所

面談者 8 名

#### 4 貸付相談及び貸付事業

低所得や障がいなど複合的な問題を抱えたケースが増加していることから、従来の生活福祉資金貸付相談をはじめ多重債務相談や住宅支援相談等、より実情に応じた様々な相談に対し、包括的かつ柔軟な対応に努めています。

##### ①生活福祉資金等貸付相談及び貸付業務 <県社協受託事業>

三重県社会福祉協議会が行う低所得者、高齢者、障がい者などに対する生活福祉資金の貸付に関して業務の一部を受託し、経済的自立や生活意欲の助成促進、社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援することを目的に実施いたしました。

(単位：件)

	30 年度	29 年度	増減
相談件数	39	60	△21
貸付件数	0	1	△1
長期滞納者の面談	0	0	0

貸付残高件数 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

(単位：件)

	30 年度	29 年度	増減
総合支援資金 (生活支援費)	18	25	△7
緊急小口資金	30	37	△7
臨時特例つなぎ資金	1	1	0
福祉資金 (その他)	7	8	△1
合計	56	71	△15

(県社協にて償還免除：11 件)

## ②福祉金庫貸付業務

市内の生活困窮者に対して、緊急を要する資金として上限 30,000 円の貸付を行うことにより、円滑な社会生活を送れるようにすることを目的に貸付事業を実施いたしました。

(単位：件、円)

		30 年度	29 年度	増減
貸付	件 数	2	1	1
	金 額	40,000	30,000	10,000
償還	件 数	17	9	8
	金 額	84,000	27,000	57,000

(不納欠損処分：1 件 10,000 円)

貸付残高件数（平成 31 年 3 月 31 日現在） (単位：件)

	30 年度	29 年度	増減
福祉金庫	8	11	△3

## 5 緊急食糧等提供事業

市内在住の低所得者等が、緊急的かつ一時的に生活の維持が困難となった場合に食糧等の生活に必要な現物等を提供し、自立に向け社会生活が送れるよう支援を行いました。

(単位：件)

	30 年度	29 年度	増減
生活困窮者支援緊急食糧提供事業（県社協）	40	65	△25
緊急時物品等支援事業（県社協）	4	2	2
亀山市社協災害時等備蓄品	30	30	0

## 6 あんしん賃貸支援事業 <三重県居住支援連絡会助成事業>

高齢者、障がい者世帯等の入居を受けられる民間賃貸住宅に関する情報などを提供し、住居の安定確保と安心できる賃貸借関係の構築を目的に居住支援を行いました。

各種会議への参加	三重県居住支援連絡会議作業部会	2 回
	居住支援フォーラム	1 回
	住宅相談会	1 回
	住宅相談窓口担当者等講習会	1 回

#### 4 地域包括支援センター事業【地域包括ケア推進係】

【職員数】常勤：9名（管理者1名、主任介護支援専門員1名、保健師1名、看護師1名、社会福祉士2名、成年後見相談員1名、介護支援専門員2名）

##### 1 包括的支援事業

###### ①総合相談支援

ご本人やご家族の生活、体調、介護等に関する相談や心配ごとを伺いました。

（単位：件）

相談機関	30年度	29年度	増減
亀山地域包括支援センター	1,322	1,466	△144
亀山在宅介護支援センター	783	602	181
亀寿苑在宅介護支援センター	480	395	85
華旺寿在宅介護支援センター	412	356	56
合計	2,997	2,819	178

###### ②権利擁護

###### (1) 成年後見制度の活用促進

成年後見制度を活用しやすいよう相談、制度説明、申し立て支援を行いました。

###### ○相談件数

（単位：件）

	30年度	29年度	増減
新規相談件数	21	20	1
延べ対応件数	108	70	38

###### ○相談内容等（重複あり）

（単位：件）

	30年度	29年度	増減
成年後見制度利用の相談	19	36	△17
成年後見制度手続きの相談支援	67	11	56
成年後見人等受任者への支援	7	5	2
広報・啓発活動の推進	1	5	△4
その他業務に関して必要なこと	15	18	△3

###### (2) 高齢者虐待相談件数

通報、相談を受けた案件について現地状況確認、相談支援を行いました。

###### ○虐待相談件数

（単位：件）

	30年度	29年度	増減
新規相談件数	10	3	7
延べ対応件数	22	30	△8

## ○虐待相談内容（重複あり）

（単位：件）

	30年度	29年度	増減
身体的虐待	13	5	8
経済的虐待	3	1	2
精神的虐待	5	22	△17
性的虐待	0	0	0
介護放棄	4	3	1

## ③包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

## (1) ケアマネジメント支援

地域の介護支援専門員が対応に困る事案について、相談、助言、同行支援等を行いました。

相談件数： 6件

## (2) 居宅介護支援事業所連絡会の開催

居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員を対象に、情報共有や事例検討会の研修会を開催しました。

開催日	内容	参加者
6月6日（水）	介護報酬改訂事項の共有とそれぞれの思い	32名
9月14日（金）	お金の価値観が合わない利用者への支援とケアマネジャーの役割について	21名
12月6日（木）	認知症利用者が効果的にデイサービスを利用するためにケアマネジャーができること	20名
2月6日（木）	多職種連携と家族との関わりについて	19名

## (3) 地域密着型サービス事業所連絡会の開催

グループホーム、小規模多機能型居宅介護など地域密着型サービス事業所職員を対象に研修会を開催しました。

開催日	内容	参加者
5月17日（木）	記録のとり方	23名
6月21日（木）	アクシデント／利用者から寄せられる苦情	22名
7月19日（木）	管理者向け実務講習／成年後見制度	16名
8月16日（木）	事例検討会	11名
9月20日（木）	認知症について（講義）	24名
10月23日（木）	実技指導「排泄介助、移乗介助について	29名
11月15日（木）	感染症について	16名
1月17日（木）	看取りについて考える～施設・職員にできること～	17名
2月21日（木）	腰痛予防で働き方改革！	16名
3月18日（月）	「働き方改革」関連の法改正に的確に対応するために	15名

#### (4) 認知症初期集中支援チーム

認知症状のある方やその家族に早期から関わり、受診、発見、対応に向けた支援体制を構築しました。また市担当者、サポート医と共に現状の課題と今後について話し合いました。

- ・ 個別相談・介入案件 7件
- ・ 認知症関係会議…年間3回…5月14日(月)、10月15日(月)、2月18日(月)

#### (5) 認知症サポーター養成講座

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成するために講座を開催しました。

開催日	対象団体	参加者
7月12日(木)	地域の茶の間(原尾)サロン	19名
7月17日(火)	野登小学校4.5年	37名
8月27日(月)	ウエルシア亀山御幸町店(薬局店員)	6名
10月16日(火)	認知症カフェ(高齢支援G)	12名
10月26日(金)	白川地区まちづくり協議会	18名
11月7日(水)	ふらっとほーむ野登	29名
11月10日(土)	井田川北まち協・コミュニティ	29名
1月18日(金)午前	福祉委員	17名
1月18日(金)午後	福祉委員	10名
1月21日(月)28日(月)	亀山高校 総合生活科2年	39名
2月22日(金)	白川小学校 4.5.6年	22名

#### ④地域ケア会議の開催

##### (1) 地域包括支援センター・在宅介護支援センター・社会福祉協議会 連絡会議

行政及び各機関の業務内容、役割の相互理解、情報共有のため月1回開催しました。

年12回(4/12・5/17・6/14・7/12・8/9・9/13・10/11・11/8・12/13・1/10・2/14・3/14)

##### (2) 個別ケア会議

地域や介護支援専門員からの相談を受け、単独の支援者では難しい困難事例への対応について、有効な専門職種やサービス提供事業者、地域住民等支援者を招集し話し合いました。

年4回(6/13・7/8・7/17・2/21)

## 2 指定介護予防支援事業

### ① 予防支援費・委託料

要支援（1,2）及び事業対象者と認定された利用者の心身の状況や生活を評価し、本人の思いや家族等の意見をふまえたケアプランを作成または外部委託し、在宅サービス提供事業者、地域の支援者等との連絡調整を行いました。

（単位：件、円）

月	予防支援（包括支援センター）		予防支援（外部委託）	
	件数	金額	件数	金額
4	51	215,040	199	945,598
5	56	257,132	204	935,802
6	54	237,440	208	972,060
7	54	237,440	202	928,196
8	51	228,480	208	959,974
9	54	237,440	213	994,460
10	53	237,440	212	968,516
11	56	255,778	211	965,390
12	55	246,400	213	991,334
1	56	257,132	213	972,996
2	55	249,526	217	986,436
3	54	245,046	216	998,940
合計	649	2,904,294	2,523	11,619,702
月平均	54	242,025	210	968,309

### ② 総合事業（ケアマネジメント費）・委託料

予防支援費と同様、介護保険日常生活支援総合事業に位置付けられたサービスの利用者に対する介護予防支援業務を行いました。

（単位：件、円）

月	ケアマネジメント費 （包括支援センター）		ケアマネジメント費 （外部委託）	
	件数	金額	件数	金額
4	44	197,120	128	595,322
5	44	203,372	133	623,974
6	44	200,246	140	664,712
7	42	188,160	136	636,996
8	40	182,326	131	593,132
9	40	179,200	130	604,282
10	40	179,200	137	647,728
11	41	186,806	137	629,390
12	40	179,200	140	647,310

1	41	186,806	140	636,578
2	43	198,892	141	653,562
3	44	184,779	140	646,629
合計	503	2,266,107	1,634	7,579,615
月平均	42	188,842	136	631,635

③その他の収入

介護保険住宅改修理由書作成料：7件 14,000円

## 4 福祉サービス事業【在宅福祉係】

### 1 訪問介護・居宅介護事業

【訪問介護員（ホームヘルパー）数】（平成 31 年 3 月 31 日現在）

・常勤：2 名、登録：15 名 <前年度末 常勤：4 名、登録：12 名>

#### ①介護保険制度

##### （1）訪問介護事業

要介護認定を申請し、要介護と認定された方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる訪問介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

		30 年度	29 年度	増減
利用延べ人数		356	549	△193
派遣延べ回数		7,022	8,069	△1,047
事業収入		22,956,141	26,415,416	△3,459,275
派遣時間数		4,554.5	5,586.5	△1,032
内 訳	介護（身体介護・生活援助）	4,554.5	5,055	△500.5
	介護予防	0	531.5	△531.5

##### （2）介護予防・日常生活支援総合事業

要支援及び事業対象者と認定された方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる訪問介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

		30 年度	29 年度	増減
利用延べ人数		190	125	65
派遣延べ回数		1,286	843	443
事業収入		3,964,258	2,659,615	1,304,643
派遣時間数		1,211.5	805.5	406

#### ②障害者総合支援制度

##### （1）居宅介護事業

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる居宅介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

		30 年度	29 年度	増減
利用延べ人数		326	357	△31
派遣延べ回数		3,376	3,913	△537
事業収入		10,837,563	12,257,726	△1,420,163
派遣時間数		2645.5	3,206	△560.5

## (2) 同行援護事業

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた視覚障害の方に外出するための移動支援を行います。【平成30年度利用実績なし】

## ③地域生活支援事業＜市委託事業＞

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方に外出するための移動支援を行いました。

(単位：名、件、円、時間)

	30年度	29年度	増減
利用延べ人数	12	8	4
派遣延べ回数	12	8	4
事業収入	30,480	26,930	3,550
派遣時間数	6	9	△3

## 2 居宅介護支援事業

【介護支援専門員（ケアマネジャー）数】

・介護支援専門員 2名 <前年度末3名>

### ①介護給付費 <介護保険制度>

要介護（1～5）・要支援（1,2）及び事業対象者と認定された利用者や家族等の意見をふまえたケアプランを作成し、居宅サービス計画に基づき在宅サービス事業者との連絡調整を行いました。

(単位：件、円)

月	介護給付		予防給付	
	件数	金額	件数	金額
4	57	716,102	16	74,806
5	57	713,862	16	71,680
6	55	685,510	16	71,680
7	56	704,974	14	62,720
8	54	671,100	12	53,760
9	54	671,100	14	68,972
10	52	631,776	15	73,452
11	46	563,788	15	67,200
12	45	546,252	15	67,200
1	19	234,724	9	40,320
2	18	227,034	9	40,320
3	0	0	10	47,926
合計	513	6,366,222	161	740,036
29年度	1,027	15,831,049	285	1,320,204
増減	△514	△9,464,827	△124	△580,168

## ②受託金収入

鈴鹿亀山地区広域連合及び他市町村より要介護認定調査の委託を受け、対象者の住居を訪問し、心身の状態について面接調査を行いました。

(単位：件、円)

	30年度	29年度	増減
認定調査件数	17	195	△178
受託金収入	91,800	1,053,000	△961,200

## 5 福祉サービス事業【障がい福祉係】

【指定障害福祉サービス生活介護事業所「つくしの家」】

### 1 生活介護事業

利用者やその家族が希望する生活を大切に、個別支援計画に基づき介護や行事、創作的活動、交流活動、余暇活動等を提供するとともに軽作業等の生産活動も行いました。また、本年度より利用者のニーズの高かった送迎サービスを行いました。

#### ① 職員配置

(単位：名)

職名		つくしの家	なかまの部屋
管理者			1
サービス管理責任者			1
医師			1
看護師			1
生活支援員	常勤	正規	1
		嘱託	0
		非常勤	4
	非常勤(登録)(兼務)	5	1

#### ②利用実績

(1) つくしの家(主たる事業所：定員25名)

(単位：名、日、回、円)

	30年度	29年度	増減
利用者数	23	18	5
延べ利用人数	4,296	3,284	1,012
送迎利用回数	6,581		6,581
事業収入	30,353,386	23,397,391	6,955,995

(2) なかまの部屋 (従たる事業所：定員 12 名)

(単位：名、日、回、円)

	30 年度	29 年度	増減
利用者数	10	10	0
延べ利用人数	1,847	1,899	△52
送迎利用回数	2,288		2,288
事業収入	14,956,998	14,555,303	401,695

③創作的活動 (年間行事)

季節に応じた行事等を経験し、見識を広めることで利用者が余暇を楽しむことができるよう支援するとともに、様々な場面や変化に順応できる力を伸ばせるよう支援しました。

(1) つくしの家 (主たる事業所)

実施日	行事名	場所
4 月 6 日	季節の行事 (花見)	亀山公園
4 月 23 日	季節の行事 (藤見学)	太厳寺
6 月 1 日	ショッピング	イオンモール鈴鹿
6 月 5 日	季節の行事 (菖蒲園散策)	亀山菖蒲園
6 月 22 日	社会見学	知多半島方面
7 月 13 日	じゃがいもパーティー	つくしの家
8 月 21 日	あいあい入浴日	白鳥の湯
8 月 31 日	季節の行事 (夏祭り・流しそうめん)	つくしの家
10 月 30 日	季節の行事 (ハロウィン)	つくしの家
11 月 16 日	季節の行事(ハイキング・足湯)	つくしの家 あいあい
11 月 30 日	忘年会 (バイキング・ハイキング)	鈴鹿サーキット 青少年研修センター
12 月 21 日	利用者健康診断	社会福祉センター
12 月 25 日	季節の行事 (クリスマス会)	つくしの家
1 月 11 日	新年会 (お茶会)	つくしの家
2 月 1 日	季節の行事 (節分)	つくしの家
なかまの部屋との合同行事 (年 8 回) 嘱託医師による定期健診 (年 2 回) 看護師によるバイタルチェック (検温、体重測定、血圧測定、健康相談等) (週 1 回) 音楽クラブ、パソコンクラブ、手芸 (月 1 回～3 回) 外食または喫茶の日 (年 2 回) 避難訓練 (年 4 回、内 2 回は全館避難訓練) 選択行事 (カラオケ・ショッピング・ドライブ) 余暇活動 (ウォーキング等の軽運動、カラオケ、物づくり等)		

(2) なかまの部屋 (従たる事業所)

実施日	行事名	場所
4月6日	季節の行事 (花見)	亀山公園
4月20日	外食の日	伊勢路
6月12日	季節の行事 (菖蒲園散策)	亀山菖蒲園
6月22日	社会見学	知多半島方面
7月13日	じゃがいもパーティー	つくしの家
7月20日	季節の行事 (川涼み)	落合の郷 (津市)
8月21日	あいあい入浴日	白鳥の湯
8月31日	季節の行事 (夏祭り・流しそうめん)	つくしの家
9月20日	喫茶の日	T2 菓子工房 (津市)
10月30日	季節の行事 (ハロウィン)	つくしの家
11月16日	季節の行事 (ハイキング・足湯)	つくしの家
11月29日	外食の日	アベール (津市)
12月21日	利用者健康診断	社会福祉センター
12月25日	季節の行事 (クリスマス会)	つくしの家
1月11日	新年会 (お茶会)	つくしの家
2月13日	季節の行事 (チョコ作り)	なかまの部屋
3月13日	外出の日	津市内 (イオン)
つくしの家との合同行事 (年 8 回) 嘱託医師による定期健診 (年 2 回) 看護師によるバイタルチェック (検温、体重測定、血圧測定、健康相談等) (週 1 回) プチエステの日 (月 1 回) 調理の日&誕生会 (年 7 回) 避難訓練 (年 3 回) 選択行事 (カラオケ・ショッピング・ドライブ) 余暇活動 (足湯、ウォーキング、園芸、体操、ゲーム等)		

④地域交流

地域の小、中学生やボランティアなどと交流をし、障がい者への理解を深めてもらえるよう広報啓発に努めました。

(1) つくしの家 (主たる事業所)

実施日	行事名	場所
6月4日	中学生職場体験受入 (5日間)	つくしの家
6月29日	白川小 5、6年生体験学習	つくしの家
8月20日	中学生福祉体験教室 (3日間)	つくしの家
9月14日	三重大生との交流会	三重大学
9月25日	西部地区民生委員との交流会	つくしの家

9月27日	白川小全校生徒との交流会	社会福祉センター
11月15日	亀老連芸能フェスティバル参加	社会福祉センター
11月7日	白川小ふれあい集会打合せ	つくしの家
11月22日	白川小ふれあい交流会	白川小学校
2月12日	鈴鹿大学の学生との音楽交流	社会福祉センター
2月22日	三重大生との交流会	つくしの家
2月26日	西部地区民生委員との交流会	社会福祉センター
3月15日	感謝の集い	つくしの家
3月20日	白川小卒業式出席	白川小学校
三重大学教育学部の学生ボランティアサークル「つくしんぼサークル」との交流 (月1回)		

(2) なかまの部屋 (従たる事業所)

実施月日	行事名	場所
5月18日	関地区民生委員との交流会 (カラオケ大会)	鈴鹿市
7月6日	関地区民生委員との交流会 (七夕茶会)	なかまの部屋
8月8日	放課後児童クラブとの交流会 (合同避難訓練)	放課後児童クラブ園庭
8月20日	中学生福祉体験教室 (4日間)	なかまの部屋
10月19日	保護者との交流会 (秋を楽しむ会)	なかまの部屋
11月9日	関小学校5年生との交流会 (体験学習)	なかまの部屋
12月7日	関地区民生委員との交流会 (クリスマス会)	健康づくり関センター
12月10日	放課後児童クラブとの交流会 (焼き芋会)	放課後児童クラブ園庭
2月12日	鈴鹿大学の学生との音楽交流	社会福祉センター
3月1日	関地区民生委員との交流会 (感謝の会)	なかまの部屋
3月8日	関小学校5年生との交流会	なかまの部屋

⑤生産活動

機能訓練の一環として、一人ひとりにあつた軽作業を行い、達成感や自信が持てるよう支援しました。

(1) つくしの家 (主たる事業所)

委託先	作業内容
(株) アシベ工芸	ろうそく箱詰め
(株) 榊屋蓮華	葬儀用造花作り
(有) 松川紙工	100円商品の組み立て・梱包
亀山農研	野菜洗い・梱包
長田隆尚後援会	チラシ折り・封入作業
(株) ラシーヌ	にんにくの皮むき

## (2) なかまの部屋 (従たる事業所)

委託先	作業内容
(株) アシベ工芸	ろうそく箱詰め
(有) 松川紙工	100円商品の組み立て・梱包

## 2 利用体験実習の受入

卒業後の進路を考慮し体験できるよう、杉の子特別支援学校 石薬師分校の生徒3名、城山特別支援学校の生徒1名の現場実習を受け入れました。【つくしの家】

## 3 運営委員会の開催

本事業所の円滑な運営を資するため、福祉サービス内容や事業計画及び運営について協議をしました。

実施日	内容
1月29日(火)	平成30年度事業報告及び現状について 平成31年度事業計画(素案)について

## 4 特定・障害児相談支援事業

28年度より障害福祉サービス等を申請した障がい者(児)に、自立した生活を支え、障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、サービス等利用計画の作成及び支給決定後の計画の見直しを行いました。

### ① 特定相談支援 (単位: 名、円)

	30年度	29年度	増減
契約者数	70	54	16
事業収入	2,430,938	2,074,114	356,824

### ② 障害児相談支援 (単位: 名、円)

	30年度	29年度	増減
契約者数	20	20	0
事業収入	643,300	751,363	△108,063

## 5 社会福祉センターの運営 〈市補助事業〉

【年間利用状況 〈3階集会室〉】 (単位：件、名)

	30年度	29年度	増減
利用件数	369	464	△95
利用人数	10,297	10,367	△70

【工事及び修繕の執行状況】

工事名	契約年月日	完成年月日
昇降機改修工事	平成30年 5月 28日	平成30年 11月 19日
屋外高圧配線設備修繕	平成30年 9月 6日	平成30年 9月 7日
福祉センター2階トイレ壁、 1階事務所床等改修工事	平成30年 12月 19日	平成31年 2月 28日
その他 7か所修繕		

## 6 その他

### ①関係機関への協力、参加

(単位：回)

委員会名	実施主体	回数/年	出席者
亀山市地域福祉推進委員会	健康福祉部 地域福祉課	1	会長
亀山市要保護児童等・DV対策地域協議会	健康福祉部 子ども未来課	1	会長
亀山市民生委員推薦委員会	健康福祉部 地域福祉課	2	会長
亀山市国民保護協議会	防災安全課	1	会長
亀山市防災会議	防災安全課	1	会長
亀山市水防協議会	防災安全課	1	会長
三重とこわか国体・三重とこわか大会 亀山市実行委員会	第76回国民体育大会 亀山市準備委員会	1	会長
亀山市共同募金運営委員会	亀山市共同募金委員会	2	会長 古川
亀山市地域自立支援協議会	健康福祉部 地域福祉課	1	会長 藤本
かめやま江戸の道シティマラソン実行委員会	かめやま江戸の道シティマラソン実行委員会	2	会長 藤本
亀山市高齢者・障がい者虐待防止対策代表者会議	健康福祉部 長寿健康課	1	古川
介護認定審査会	鈴鹿亀山地区広域連合	17	出口
介護保険運営委員会	鈴鹿亀山地区広域連合	3	古川
市民活動応援制度審査検証委員会	生活文化部 まちづくり協働課	3	藤本

(平成31年3月31日現在)

### ②亀山市議会教育民生委員会との意見交換会

当会の事業概要や意見交換の場として、市議会教育民生委員会と意見交換会を行いました。

実施日 平成30年5月10日(木)

場 所 市役所 第1委員会室

内 容 社会福祉協議会の事業概要及び地域包括ケアシステムにおける  
社会福祉協議会の役割について意見交換

出席者 会長、事務局長、次長、各担当係長

## 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会 組織・事務機構図

